

田尻だより

平成 20 年

5月 号

Vol. 62

次回の田尻便りは
6月1日発行予定!

4月の末になって、

ようやく田んぼの用水

が取れるようになり、

田んぼが次々と潤って

来ました。待ってまし

たとばかりにカエルの

合唱も始まっています。

5月はいよいよ田植

えの季節。農家も代か

きや田植えの準備に追

われ、にわかには活気づ

いてきた田尻です。

4歳の誕生日に、ばあばが
自転車を買ってくれました。
この1ヶ月で随分上達し、



最近天気もよいので
敷地内を暴走しています。

「食育と子育て支援」

田尻はへんぴな田舎

なので、不便だなあと

思うところが多々あり

ます。一方で、田尻の

食育と子育て支援は非

常に先進的で、とても

感心させられます。

冷凍餃子事件以降、

今でこそ学校給食に地

場産食材を使用する取

組みが全国各地で進ん

できましたが、田尻で

はかなり昔から全て地

元食材で給食が作られ

てきました。

また、全国に先駆け

て幼保一元化に取組み、

田尻のすまいる園では

幼稚園児と保育園児が

一緒に学び、家庭環境

の異なる子供たちに等

しく充実した教育と保

育が提供されています。

子育て中の私からす

るととても贅沢で恵ま

れた環境だと思えます

が、子供にしてみると

やっぱり不便でつまら

なく感じてしまうのか

などと思うと、なんとも

寂しい気がします。

また、平仮名や数字も
たいぶ読めるようになって
きました。



心身のめざましい発達
ぶりに、日々驚かされる
毎日です。

米 曆 ~こめごよみ~

4月3日~ 表層耕起開始

7日 土壌分析をしました

8日 種もみを催芽しました

9日 土合わせ(床土づくり)
をしました。

12・16・26日 種まきをしました。

現在、田んぼ(水苗代)とビニールハウス(ブール育苗)の両方で苗を育てています。

嫁日記

4月5日、すまいる園の入園式に出席しました。3月まで保育園児として通っていたさくらですが、4月からは幼稚園児(年少)として通うため、新入生扱いになります。

保育所は厚生労働省の管轄で、子育てが困難な家庭の子供を0歳から預かってく

れる児童福祉施設です。幼稚園は3歳から利用可能な「学校」施設で、管轄は文部科学省です。同じ施設でも属性が全く異なるため、新入生として入園する訳です。

幼保一元化は先進的な取り組みだけあって先生方も熱心です。安心して子供を預けられる意味でも、全国に普及して欲しいなと思います。